
はじめに

目 的

本市においては、昭和53年に発生した宮城県沖地震を教訓として、災害時における共助の中核となる自主防災組織の結成促進に努め、その結成率は非常に高い割合となっております。

東日本大震災発生時には、自主防災組織による安否確認や情報収集、避難所運営など様々な自主防災活動により、災害対応に大きく寄与していただいた地域もありました。

このような中で、多くの自主防災組織においては、活動の停滞やマンネリ化、活動参加者に偏りが生じるなど様々な課題を有していることも事実です。

こうしたことから、本市においては東日本大震災の教訓を踏まえ、自主防災活動の更なる活性化を図るため、防災に関する知識と技術を有し、町内会長等を補佐しながら、自主防災活動の中心的な役割を担う、地域に根ざした地域防災リーダーの養成を行うことといたしました。

本テキストは、地域防災リーダーに求められる平常時の防災計画づくりや効果的な防災訓練の進め方、さらには、災害発生時の安否確認や初期消火、救出・救護、避難誘導など、実践的な行動につながる知識と技術を身につけて頂き、地域の自主防災活動に反映されることにより、防災力の更なる充実を図ることを目的として作成したものです。

今後、地域防災リーダーにより地域の防災活動が推進され、本市の自主防災組織の活性化及び地域防災力の向上が図られることを期待するものです。

内 容

本テキストは、下記の二編で構成しています。

1. 本 編

全7章で構成しており、最終章では、テキストで習ったことを確認するための「理解度チェック」を設けています。気軽にチャレンジしてみてください。

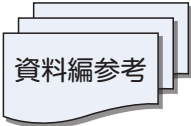
2. 資料編

初期消火や自主防災計画・防災マニュアルの参考例や地域団体との連携参考事例等を掲載しています。

使 い 方

1. 本 編

- ① 各章の最初のページに「この章で学ぶこと」を説明しています。
本文に入る前に、ここで概要を把握してください。

- ②  が右上に付いている科目については、資料編も活用ください。

2. 資料編

さまざまな参考事例を掲載しています。
本編と併せてご覧ください。

地域における講習会での使い方

地域において講習会を行う際には、必要なページをコピーして配付資料としてご活用ください。